

## ICTを利活用した協働教育推進のための研究会（第5回）（文書審議）議事要旨

1. 日時：平成23年3月23日（水）～25日（金）

2. 場所：各構成員の勤務先等

3. 参加者

(1) 構成員（敬称略）

清水康敬（座長）、石原一彦、曾根節子、野中陽一、堀田龍也、前迫孝憲、毛利靖、山本清和

(2) 総務省

(3) 文部科学省（オブザーバー）

(4) 事務局

情報流通行政局情報通信利用促進課

4. 配布資料

資料1 構成員による実証校視察について

資料2 東日本地域における実証研究の報告書の概要（NTTコミュニケーションズ（株）提出資料）

資料3 西日本地域における実証研究の報告書の概要（（株）富士通総研提出資料）

資料4 ガイドライン（案）の概要

資料5 ガイドライン（案）

参考資料 ICTを利活用した協働教育推進のための研究会（第4回）議事要旨

5. 議事概要

(1) 開会

(2) 議事

○会議趣旨説明

（事務局）

- ・実証結果を踏まえたガイドラインの策定を目的とした本研究会は今回で最後。
- ・構成員の方々には昨年6月の初会合から今回の第五回までの間、精力的に議論をしていただき、また、10校すべての実証校に御視察の上、アドバイスいただいたことに対し感謝。
- ・今回は、①実証校に視察された構成員の方々からのアドバイス等、②東西の実証研究の報告書の概要、③前回のご指摘を反映させたガイドライン案についての3点を議題とし、最終的にはガイドラインのとりまとめを行う。
- ・開催方式については、メールで資料を送付し、構成員間で意見を共有するために「全員に返信」の機能を用いて、25日（金）17時までに返信してもらう形で開催する。

○自由討議

（野中構成員）

- ・前回の資料と比較して、格段に分かりやすくなっており、一定の評価ができる。
- ・コンテンツ・アプリケーションに関しては、インターネット上のコンテンツを含む教材コンテンツや学習ツールについても、さらに詳細に記述した方が良いと思うが、次年度の課題としたい。
- ・実証授業での取り組み事例、学校と家庭との連携における活用事例について

も、もう少し実践の内容や使用したコンテンツ等について詳しい記述が必要かと思うが、これも次年度の課題としたい。

- ・資料2、資料3の「システムログの項目」に「使用頻度にばらつきがある」等との記載があるが、システム上の問題なのか、それ以外の問題なのか、来年度に向けて、分析する必要があると思う。そのためには、具体的な実施状況、活用状況のデータが必要である。

(堀田構成員)

- ・大変分かりやすく、また網羅的に整理された資料が出揃っていると感じる。1年目なので、これでほぼ十分な内容であると感じる。2年目以降で明らかにしたいことを指摘する。
  - ・導入したソフトウェア・教材等のうち、学校がよく用いているものとその利用理由をさらに明確にし、学習形態・学習内容に合わせた学習環境の整備の指針としたい。
  - ・従来の学習環境でできた内容の1to1への置き換えによる効率化や、従来の学習環境ではできなかった内容の1to1での実現、1to1でなく従来の学習環境であえて行うことにした内容などをさらに明確にし、従来型の学習環境との合理的接続を目指したい。
  - ・利用に対する学校間、教員間、児童間の異同についてさらに明確にし、その振れ幅を把握することにより、必要十分な学習環境の程度についての指針を得たい。
  - ・1年目はとにかく走り出し、導入にエネルギーがかかったこともあり、総務省、事業者、学校、周辺の研究者および研究会構成員の間での情報共有、流通が十分ではなかったように感じる。2年目以降、この点が改善され、プレイヤー間の透明性が担保されるべき。

(前迫構成員)

- ・表紙の図からは楽しいイメージが湧いてくる。これを補うような説明があれば一層分かり易いのではないか。ぜひ、ガイドラインの冒頭(「はじめに」等)に含めていただければと思う。
- ・また、現在「附章」となっている「実証授業での取り組み」や実証校の写真等からは、「これならやってみたい(先生方)」「学校も変わってきたんだね(保護者)」「フレッシュな先生の活躍の場が広がる(管理職・地域等)」等と言ってもらえるのではないかと思う。

(清水座長)

- ・ガイドライン案の全体を通読したが、以下の点の修正を検討してほしい。
  - ・表紙のタイトルについて、「教育分野におけるICT利活用推進のための情報通信技術面に関するガイドライン(手引書)2010」となっているが、最後の「2010」は「2010年度」の意味のように思うが、これではわかりにくいので「2011」とした方が良いと思う。
  - ・7ページのタブレットPC充電保管庫について、「数回に分けて充電」とあるが、これは正しくないように思う。18ページの説明が正しいと思うので、合わせる必要がある。
  - ・9ページのクラウドの中のイラストと文字がよく読めない。
  - ・10ページの「クラウド上のシステムが・・・」について、「クラウド上のソ

ソフトウェアが・・・」への修正を検討してほしい。

- ・10 ページの「参考にして・・・」は、どこを見ればよいのかを示す必要がある。
- ・14 ページの「関係資料を手配する」は、学校が何をするのか、明確でないと思う。
- ・25 ページの「写り込み」は「映り込み」に修正すべき。
- ・31 ページの「学校外からアクセスできない配慮も必要となります」は、「学校外からアクセスできないようにする必要があります」に修正すべき。
- ・32 ページの「児童用及び教員用タブレット PC について、利便性を考慮した設定、充電忘れへの対応が必要となります。」を「児童用及び教員用タブレット PC は、利便性を考慮した設定と、充電を忘れた場合に対する対応を考えておく必要があります。」に修正すべき。
- ・37 ページの2つの図は分からないので、吹き出しで説明を入れるなどが必要と思う。
- ・38 ページの「ロックを掛ける」は「ロックする」に修正すべき。他にも同様の表現があったと思うので、記載を統一すべき。
- ・45 ページの下図2つはよくわからない。
- ・47 ページの「ICT 支援員の採用がおこなわれました」を「ICT 支援員が採用されました」に修正すべき。
- ・47 ページの「・・・というアイディアに対して」を「・・・という要望に対して」に修正すべき。
- ・48 ページの「回覧資料として説明を作成し」を「回覧資料を作成し」に修正すべき。
- ・61 ページを「ですます調」にして、平仄を揃えた方がよい。

(安間情報通信利用促進課長)

- ・今般の大震災の発生に伴い、対面での開催を中止し、メールにより御意見を伺う形式とさせていただいた。
- ・構成員の方々には、お忙しい中、資料に目を通していただき、御意見をいただいたことに対し、厚くお礼申し上げます。
- ・いただいた御意見については、事務局で取りまとめさせていただき一方で、最終的な取り扱いには、清水座長にご一任いただきたい。
- ・ガイドラインは、印刷・製本を経て4月上旬には納品の予定である。構成員の皆様には完成次第、お送りする。

(3)閉会

(以上)